

平成 15 年度 外務省委託スキーム別評価「国際緊急援助隊評価」
在ベトナム日本大使館に対する質問票

わが国の国際貢献の主要な柱の一つである ODA は、金額面では世界トップクラスの規模を誇る一方、近年ではより質の高い、効果的・効率的な援助の実施を求める声が国内外でも高まっております。これらの声に応えるべく、外務省でも ODA の評価に力を入れており、この度、「国際緊急援助隊」派遣制度を対象にプログラムレベル評価（スキーム別評価）を行うこととなりました。この評価の目的は、第一に「国際緊急援助隊」について総合的かつ包括的に評価し、今後のより効果的な実施の参考とするための教訓・提言を得ること、第二に評価結果を公表し説明責任を果たすことです。

この評価の一環として、外務省調査チームは本年 3 月 16 日から 4 月 1 日にかけて実施されました「ベトナム SARS 感染に関する国際緊急援助隊（専門家チーム）」派遣をケーススタディとして取り上げ、12 月 15 日～19 日の日程でベトナムでの現地調査を行い、情報収集を行う予定です。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮でございますが、以下の質問へのご回答にご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。複数ご担当者や従事された方がいらっしゃる場合は、用紙をコピーの上、それぞれ別個にご記入下さいますようお願いいたします。まことに勝手ながら、ご記入いただきました質問票については、調査訪問時に回収させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

回答者

氏名：

役職：

国際緊急援助隊 受入れに当たり果たした役割：

在任期間： 年 月 日 ～ 現在

- Q1. 本件評価調査団は、既存のマニュアルや関係者へのヒアリングを通じて「国際緊急援助隊」の派遣に備えるための通常時及び派遣時における体制を整理し、在外公館においては以下のとおり実施すると理解しております。ついては、通常時及び実際の派遣時(SARS 集団発生に対する国際緊急援助隊専門家チーム派遣)における貴大使館の実施状況について、教えてください。

(1)通常時

以下の各項目についての実施状況について、A～D(A:明確に行っている、B:行っている、C:あまり行っていない、D:全く行っていない)から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
在外-1	担当者を決めておく					
在外-2	任国担当者と平時からのネットワーク構築					
在外-3	緊急援助責任者及び緊急援助担当者名等の報告(1月1日現在)					
在外-4	同責任者及び担当者の交替報告(交替時)					

(2)派遣時(一般)

以下の各項目についての実施状況について、A～D(A:順調に行った、B:行った、C:行ったが十分とはいえなかった、D:全く行わなかった。)から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
在外-1	本省への第一報(災害情報:災害の種類、発生日時、場所)、(被害状況:死亡者数、被災者数、負傷者数ほか)、現地連絡先、日本連絡先の確認					
在外-2	被災国への支援申し入れ(必要に応じ)(JICA等との情報を共有)					
在外-3	支援申し入れ結果を本省報告					
在外-4	被災国からの援助要請報告、外務省内関係各課への通報					

(3)派遣時(現地)、専門家派遣

以下の各項目についての実施状況について、A～D(A:順調に行った、B:行った、C:行ったが十分とはいえなかった、D:全く行わなかった。)から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
在外-5	JDR チーム到着時 被災国情報ブリーフィング(最新被害情報、被災国・他援助国の活動状況、安全・衛生状況、便宜供与事項、一般的な現地事情(宗教、タブー、国民性)、活動サイト選定の助言)					

在外-6	JICA 事務所がない国・地域では、JICA 現地事務所業務の一部を実施					
在外-7	JDR チーム活動中 ①首都のドナー会合への出席、得られた情報をチームへ提供 ②チーム到着、チーム出発に当たり、ミーティングのアレンジ。被災国中央政府への報告(訪問)、同席。					
在外-8	チーム携行機材供与式(引き渡し式)の実施					
—	(随時、広報活動を行う)					

Q2. 「国際緊急援助隊」の活動の、被災国における認識度合いについて調査しております。現地調査の際に、次の情報をご提供いただきたくお願い申し上げます。

1. ベトナムにおいて JDR についての広報された新聞記事コピー、テレビ放映の概要。(本省に報告しているものは除く。)

および

- ベトナム国におけるテレビ保有台数(1,000 人当たり)、
- 各主要新聞の販売部数

2. 国際的メディアに取り上げられた JDR の記事、概要。(本省に報告しているものは除く。)

Q3. その他本スキームに関してご意見があれば、教えていただきたく存じます。

以上